

3

出島さんは、おじいちゃんやおばあちゃんや子どもたちのころ、どんな遊びをしていたのかについて調べ、学級のみんなに説明するための文章を書くことにしました。次の出島さんが書いた文章をよく読んで、あとの問いに答えましょう。

みなさんは、「かんけり」という遊びを知っていますか。おじいちゃんやおばあちゃんが、子どものころ、よく遊んでいた遊びだそうです。

<sup>A</sup>わたしは、「かんけり」がどんな遊びか知りたいと思い、みんながよく知っている「かくれんぼ」とにいてるところやちがうところをおじいちゃんやおばあちゃんにたずねたり、インターネットで調べたりしました。

「かんけり」は、<sup>ア</sup>あきかんをつか<sup>イ</sup>って遊びます。

「かんけり」と「かくれんぼ」は、<sup>B</sup>にいてるところが多くある。

にいてるところは、おにとかくれる人に分けられるところや、<sup>ウ</sup>全員を見つかるまでさがすところなどです。

ちがうところは、かんをけて始めるところや、つかまった後もふっかつでできるところです。

かくれんぼは、一度見つかったら、全員が見つかるまで待つしかありませんが、「かんけり」は、見つかっていない人がかんをけることができれば、おにつかまっていた人も全員、またにげることができます。つまり、またはじめからになります。

楽しく遊ぶためには、気をつけることやくふうすることがあります。

例えば、（

C

）

調べてみて、「かんけり」と「かくれんぼ」はにいていますが、「かんけり」はつかまっても、味方がかんをけるとふっかつのできるのです、おもしろいと思いました。また、長崎県とわたしのおじいちゃんやおばあちゃんが住んでいる香川県、福岡県では、<sup>エ</sup>おなじルールで遊んでいたそうです。

一 出島さんは、自分が書いた文章を読み返したとき、……………線部Aの一文が長いので、二文に分けて書いたほうがよいと考えました。文の意味を変えないように、二文に分けたとき、次の（ ）の中に入る言葉として最もふさわしいものをあとの1から4までの中から一つ選んで、番号を書きましよう。

**A** わたしは、「かんけり」がどんな遊びか知りたいと思いました。（ ） みんながよく知っている  
「かくれんぼ」とにているところやちがうところをおじいちゃんやおばあちゃんにたずねたり、インター  
ネットで調べたりしました。

- 1 では
- 2 そこで
- 3 しかし
- 4 なぜなら

二 出島さんは、——線部B多くあるを他の文に合わせて、書き直した方がよいことに気づきました。どのように書き直せばよいですか。六字で書きましよう。ただし、句点（。）は字数にふくみません。

三 出島さんは、楽しく遊ぶために気をつけることやくふうすることについて、次の【かんけりの遊び方】とおじいちゃんやおばあちゃんに【聞いたこと】をもとに、  
C に書くことにしました。  
へじょうけん」に合わせて書きましよう。  
C に入る内容を、あとの

### 【かんけりの遊び方】

- ・おにとかくれる人に分かれる。
- ・円の真ん中に置いたかんをけて始める。
- ・見つかったら、決められたところで待つ。
- ・見つからない味方が、かんをけることができたら、つかまっていた人も全員にげることができる。
- ・おには、全員が見つかるまでさがす。
- ・大人数で遊ぶ時は、おにをふやす。

### 【聞いたこと】

- ・三人でも遊べる。
- ・大人数になっても楽しく遊べる。
- ・つけたかんが道路にとび出さないようにする。
- ・周りの人や建物に当たらないようにする。
- ・長崎県、香川県、福岡県でもおなじルールで遊んでいた。

### へじょうけん

○【かんけりの遊び方】と【聞いたこと】の両方から取り上げて書くこと。

○書き出しの言葉に続けて、三十字以上、六十字以内で書くこと。なお、書き出しの言葉「例えば」は、字数にふくまない。

四 この文章に題名をつけようと思います。次の1から4までの中から内容に最もふさわしいものをついで、その番号を書き  
ましよう。

- 1 知っていますか、今、みんなに人気のある遊び
- 2 知っていますか、かんけり遊びの名前の由来
- 3 知っていますか、かくれんぼの遊び方
- 4 知っていますか、かんけり遊び

五 次の(1)と(2)の問いに答えましよう。

- (1) ━━━━━━━━━━線部ア、イ、オのひらがなを漢字で、ていねいに書きましよう。
- (2) 三、四年生にも読んでもらうために、漢字に読みがなを書くことにしました。

━━━線部ウ、エの漢字の読みがなをひらがなで書きましよう。